

雷山校区社会福祉協議会・雷寿会共催 認知症サポーター養成講座 ～対処や支援～

- * 実施日：平成28年1月22日（金）
- * 講師：【糸島市介護・高齢者支援課】
キャラバンメイト（富の里）
藤崎氏・中村氏・最所氏
- * 参加者：85名

毎年恒例の健康講話が、1月22日雷山公民館で約90名の出席者で開催されました。糸島市介護・高齢者支援課キャラバンメイトの藤崎氏・中村氏・最所氏3名（富の里職員）の方から講話や実技の指導をして頂きました。

2020年以降は認知症等など、要介護者の人口が増加することが日本全体で予想されています。糸島市においても状況は全く同じです。そのような状況の中で糸島市では27年4月から「地域包括ケアシステム」が始動しました。地域包括システムとは市民が介護を必要とする状態になっても安心して住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「医療」「介護予防」「見守り・生活支援」「住まい」が一体的に提供される仕組みです。中でも、認知症患者の見守り支援にはたくさんの認知症サポーターの協力が必要となってきます。サポーターが地域で積極的に活動できるように講座では講話だけでなく、実技・実演・ワークショップ等も取り入れたバラエティに富んだ学習会となり有意義なものでした。実技では認知症患者にどのように話しかけ、どのように支援を行うかを寸劇方式で実演していただきました。ワークショップではグループごとに分かれ支援の方法をグループで勉強、代表者が発表を行う方法とられ、「関わり方」が理解できたと好評でした。最後に講座修了証明としてオレンジのリングを配られました。

今回の認知症サポーター養成講座は、サポーターによる地域支援もさることながらサポーター自身が認知症を理解し、自分が認知症にならないようにすることもねらいとなっています。「フレイル」という言葉をご存知でしょうか。「健康な状態」「認知症など要介護状態」との中間を意味する言葉です。今現在、75歳以上の3分の1の人がこの状態にあると言われていています。やる気がなくなる、人と関わりたくない、体の調子がよくないなど、このフレイルの状態の人は努力をすれば健康な状態に戻ることができる方です。75歳以上の3分の2以上の方が健康な状態である、そんな地域を目指したいものです。地域の中でお互いを見守りあいながら、困ったときは民生児童委員・福祉委員・地域包括支援センター、シニアクラブにご相談ください。（雷寿会副会長 榊 勝）



多くの人の理解が支援に繋がります



講師による実演

グループに分かれて
ワークショップ



代表者の発表

クリスマス会

参加者 子ども14名 保護者12名 スタッフ8名

12月10日(木)“いこいの家”にて、クリスマス会を行いました。大きなクリスマスツリーに保護者にもお手伝いをさせていただ

きながら、子ども達と一緒に飾り付けをしたり、可愛いケーキとジュース、大人もケーキとコーヒーでささやかなパーティー。お待ちかねのお菓子のプレゼントはサンタクロースに扮した男性スタッフより手渡してもらった子ども達はにこにこ笑顔で帰っていきました。

にこにこ広場は、毎月第2週目の木曜日に雷山いこいの家で開催中です。

自由に遊んだり、季節の行事を親子で楽しんだりしています。

一度遊びに来てみませんか？



お知らせ

3月10日に予定しておりました「にこにこ広場」は中学校卒業式と重なったため、3月3日に変更いたします。ご了承ください。

28年度「にこにこ広場」開催予定(毎月1回・第2週目木曜日 原則として)

- ・ 4月 7日 ・ 5月 12日 ・ 6月 9日 ・ 7月 7日
- ・ 8月 4日 ・ 9月 8日 ・ 10月 6日 ・ 11月 10日
- ・ 12月 8日 ・ 1月 12日 ・ 2月 2日 ・ 3月 9日

7月は七夕会、12月はクリスマス会 (日程は変更になる場合があります)

香典返し

ご厚意による寄付金は、校区の福祉活動に大切にに使わせていただきます。

ありがとうございました。

<寄付者>

<故人名>

<行政区名>

井手 守 様
井手 正 利 様
井上 勝 彦 様
井手 和 子 様

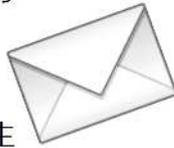
亡 父 修 輔 様
亡 妻 ミツエ 様
亡 父 克 己 様
亡 夫 長 之 様

東蔵持
平 原
香 力
平 原

にの会 第3回 愛のふれあい配布活動（お菓子）

1月22日（金）から独居老人の方83名に、茶菓子と雷山小学校の児童たちの「今、頑張っていること・将来の夢」など、自由なお手紙と共に配布しました。会員の方々には大変喜んでいただきました。

また、有田中央行政区の老人の方から16通の返事を頂き、雷山小学校へ届けました。校長先生が「子どもたちに聞かせます」と喜んでいらっしゃいました。



年の初めのご挨拶状と一緒にお届けいたしました

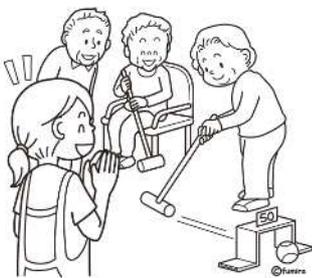
任期終了まで9か月となりました！ 今からが大事（だいじ）です

前原中学校区 主任児童委員 大原 輯一（香力行政区）



私は、主任児童委員の指名を受けてから2年3ヶ月が経ちました。民生委員の委嘱も受けていましたので、とにかく学び、また体験しようとあらゆる研修会や現場の活動に参加してきました。

雷山校区では、子育て支援サークルの「にこにこ広場」に毎月1回ですが、世話役スタッフとして参加しています。香力では、「ふれあいきいきサロン」に開設当初から参加しています。今年の2月の開催が第60回でありましたので、丁度5年を経過いたしました。



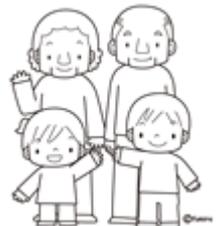
70才になってからは、シニアクラブに入会しました。香力の先輩の皆さんと、接する機会が一段と増えました。校区のシニアクラブでは、グランドゴルフ大会・ペタンク大会など体と頭を使う楽しい行事に、つつい力（ちから）が入り過ぎたものです。

校区の社会福祉協議会（社協）とシニアクラブの共同開催では、認知症のことが分かりやすい講話を聴きました、寸劇を見たり「ペコロスの母に会いに行く」の実話映画も皆で見て、拍手喝采でした。また“感動しまし

た”の声も多く上がりました。

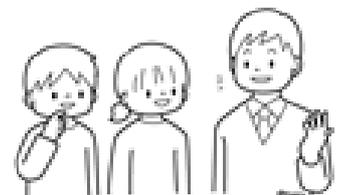
いろいろな活動への参加によって、認知症の予防を知り、他の人が認知症になられたらどう向き合えば良いかなど、本当に、理解を深め知識を得ることが出来ました。

私の頭の中には、いろいろな知識やお宝？情報が貯まってまいりました。貯まったモノを、皆さんへお知らせしたり、喜んでもらえる何かの場づくりを実行していきたいと考えています。



主任児童委員は、子どもに関係する事を専門的に担当します。前原中学校区の4校区の受け持ちです。中学校・小学校・保育園の主な行事にも出席しています。

しかし、主任児童委員の大きな役割は、地域において子どもと子育てへの支援活動を、進めることが第一と考えています。よって、雷山校区社協「にこにこ広場」の拡大や発展させることへの問題解決や、他の校区の素晴らしい活動状況のお知らせなど、自分に与えられた任務だと思っています。残されている任期をしっかりと努めてまいります。



雷山校区社会福祉協議会

民生委員・ 福祉委員合同会議

- *実施日：平成28年2月19日（金）
- *会場：雷山公民館 会議室 2
- *参加者：社協会長1名、副会長1名
主任児童委員1名、民生児童委員
5名、福祉委員10名

今年度2回目の合同会議では27年度の社協事業活動の再確認をし、それぞれの活動について反省、意見交換を行いました。

<決定事項>

要援護者ネットワーク台帳の取り扱いにおいて、要援護者情報に変更が生じた場合は、民生児童委員が、区長・福祉委員の帳票と一緒に市社協へ提出すること。

最後に、社協会長より、「本日の意見を参考に地域のために、区長・民生児童委員・福祉委員が協力し合って活動していきましょう。」との言葉で閉会しました。



主な意見

- ・雷山校区13行政区で“いきいきサロン”を実施している行政区は5か所だけであるが、少子高齢化の中、高齢者が集まりやすい雰囲気を感じられるような会（サロン等）を考えていきたい。
- ・今後、買い物難民といわれる住民、地区が増えていく中で、今から対策を考え検討していく必要があるのではないか。
- ・9月に行われている視察研修は他地域へ行くのではなく、いとしま市内の介護施設等を見学するという意見もあったが、他地区がどのような形で関わっているのかも知りたい。



雷山校区社会福祉協議会

男性料理教室

- *実施日：平成28年2月7日（日）
- *会場：雷山公民館 調理室
- *参加者：13名
- *講師：雷山校区 食進会

「料理はやってみないと～男性料理教室参加体験記」

今日の献立

- ・五目すし
- ・お吸い物
- ・大根サラダ

富行政区長 岡崎 正博

胸にエプロン、頭に三角巾を身に着けて、男の料理教室に初めて参加しました。大根サラダの千切り、五目すしの具を作り、すまし汁の味付け。錦糸卵は焼き方を伝授いただき、きれいに出来上がり！同じレシピで作った料理の味が微妙に違うなど、談義に余念が付きませんでした。これからは、季節の野菜を取り入れた家庭料理にチャレンジと考え、出来上がった料理に舌鼓を打ちました。



大根の皮をむくところから始まります！



初心者も料理好きも一緒に作業



自分で作った料理が1番？